

4年生 木曾三川公園に行ってきました。

4年生は社会科で、木曾三川分流工事や愛知用水を開発した先人の働きや願いについて学習をしています。

先日、川に囲まれた地域の人々の生活の工夫や努力について学習してきたことを、実際に見てきました。展望タワーから大きな川の様子を見て、治水神社、輪中の里、水屋などを歩いて回り、たくさんのことを学んできました。船頭平閘門では、実際に門を開けていただき、水位差のある河川間での船の行き来の仕方を理解することができました。



【子どもの感想より】「木曾三川タワーは56mあり、すごく高くて遠くまで見えました。



木曾川、長良川、揖斐川の3つの川が見えました。」「水屋に行ったとき、昔よく使われていた道具などがありました。」「最初に治水神社に行ったとき、お墓などが色々あり



ました。ちょっと悲しい気持ちになりました。」「船頭平閘門を見て、あんなに大きいんだ、すごいなと思いました。特に水のかさがあんなに減るんだとびっくりしました。門が開くところが見ら



れて、よくこんなことが思いついたなと感動しました。今度は本当に船が通っているところを見てみたいです。」

